

編集後記

『日本研究』第五十五集をお届けする。本号の特集「日本研究の過去・現在・未来」の意義についてはすでに特集の「はじめに」に詳しく記したので、ここには繰り返さないが、今日の世界や日本国内の社会情勢を反映して、ともすると内向きで排他的な志向が学問やメディアにおいて顕著になっている現状に対して、それに抗うべくクリティカルかつ論争的な言論の磁場をいくらかでも提供できていれば、編集に関わった私たちにとって、これ以上のことはない。本特集号は、発行元の国際日本文化研究センター（日文研）の創立三十周年というメモリアルにことよせて制作されたものだが、そのメモリアル自体も批評や論争の場に召喚されることは言うまでもない。自己肯定的な牧歌を奏でているだけでは、組織も個人も頹廢と衰亡を待つのみだろう。

最後になったが、今号では書評を十一本掲載することができた。取り上げている日本研究の著作は分野も多岐にわたり、日本という一国の枠組みをこえた視点で語られたものも幾つか含まれる。言語も英語に加えて中国語、アラビア語の著作が含まれる。練達な評者たちのクリティシズムを媒介として、この書評欄も世界の日本研究のささやかな中継地になっていくことを願う。

『日本研究』第五十五集 編集長 坪井秀人

日本研究(NIHON KENKYŪ) 第55集

2017年5月31日 初版発行

発行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国際日本文化研究センター
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
電話 075-335-2222 ウェブサイト <http://www.nichibun.ac.jp/>

ブックデザイン 岡村元夫
本文DTP 株式会社トーヨー企画
印刷 T-PLUS / 為国印刷株式会社

© 国際日本文化研究センター 2017 Printed in Japan
ISSN: 0915-0900
